報道機関各位

東青地域県民局地域連携部長 (公印省略)

通いの場「ねまるカフェ」オープンセレモニー及び利用体験会を開催します (蓬田村社会福祉協議会)

蓬田村社会福祉協議会では、この度、住民の支え合いの創出や孤独・孤立化の防止に向けて、「常設」かつ「世代や身体状況に関わらず利用可能である」ことを特徴とした「通いの場『ねまるカフェ』」を開設することとし、別紙のとおり、オープニングセレモニー及び利用体験会(e-スポーツ体験、いきいき100歳体操)を開催します。

「通いの場『ねまるカフェ』」は、地域共生社会の実現に向けて、蓬田村社会福祉協議会、蓬田村住民課・健康福祉課、東青地域県民局及び一般社団法人tsumugu(中間支援組織)が連携・協働して企画・実施するものであり、「健康講話、健康体操」「eスポーツ体験」「昼食等の移動販売による買物支援」「文化活動等の住民交流企画」等を予定しています。

東津軽郡では初めてとなる住民交流の場であり、地域の支え合いを創出するための重要な取組 ですので、オープニングセレモニー及び利用体験会について、取材方よろしくお願いいたします。

報道機関用提供資料(連絡先)			
担	当	者	東青地域県民局地域連携部
			副参事 松尾 義人
電話番号			直通: 017-734-9412
報道責任者			地域連携部長 宇野 正

通いの場「ねまるカフェ」オープニングセレモニー

要綱

1. 趣 旨

村内にある通いの場「いきいきなどわどサロン」や「いきいき 100 歳体操」の実施、介護予防と日常に関するアンケート調査を通じて把握した利用者の声やニーズを踏まえ、住民の支え合いの創出や孤独・孤立化の防止に向けて、「常設」かつ「世代や身体状況にかかわらず利用可能である」ことを特徴とした通いの場を開設します。

開設にあたり、住民及び行政・福祉関係者が一同に会し、常設の通いの場の必要性について考え理解するとともに、取組内容を周知し「通いの場」の利用を通じた住民主体による生活支援・介護予防の促進を目的に開催するものです。

2. 開催日時

令和5年1月11日(水)13時30分より14時20分まで

3. 会 場

蓬田村社会福祉協議会「いきいき交流館」

4. 主 催

社会福祉法人蓬田村社会福祉協議会

5. 開設式典 13:30~13:45

開 会 蓬田村社会福祉協議会事務局長

挨 拶 社会福祉法人蓬田村社会福祉協議会長

お祝いの言葉 蓬田村長

東青地域県民局長

看板デザイン発表 蓬田小学校児童3名

閉 会 社会福祉法人蓬田村社会福祉協議会事務局長

6. 「ねまるカフェ」体験 13:45~14:20

○e スポーツ体験 20 分

デジタル機器・ゲーム機器の操作を通じたフレイル予防や子どもとの世代を超えた交流 の創出

蓬田村長、蓬田社協会長、蓬田小学校児童 3 名で任天堂 switch スポーツを体験する。

○いきいき 100 歳体操体験 15分

効果的な介護予防、認知症予防、フレイル予防の働きかけによる健康寿命の延伸と 健康をきっかけとした交流の創出

高齢者の方4名と一緒にいきいき100歳体操を体験する。

◆セレモニーに関する問い合わせ◆ 社会福祉法人 蓬田村社会福祉協議会 〒030-1202 蓬田村大字瀬辺地字山田 35-84

電 話 0174-27-2828

FAX 0174-27-2830

通いの場「ねまるカフェ」※令和5年1月11日開設

【開設の経緯】

- ・蓬田村が H 3 0 に実施した「介護予防と日常に関するアンケート」において、「体力向上や健康維持」「文化的活動や趣味の場」「喫茶室」などを求める意見
- ・「などわどサロン」「集いの場」では、対象者との年齢や身体状況等に差があり、集まりにくいとの声
- ・たすけあい交通のボランティア(75歳未満)と利用者(75歳以上)の世代を超えたつながりが生まれている。

ニーズ・課題を把握した蓬田村役場と蓬田村社協から相談を受け、地域連携部及び「東青地域・地域生活サービス実証推進業務」を委託している(一社)tsumuguが参画し、実現に向けて4者で協議を開始し、企画立案。(全体計画・調整は(一社)tsumuguへの委託、実施事業は蓬田村社協への委託)

【趣旨】

- ・住民の支え合いの創出や、孤独・孤立化の防止に向け、年齢・世代や身体状況を問わず、気軽に集い、日常の時間を共有できる場を常設する。
- ・無理なく、利用しやすい場としていくため、 利用者とともに運営・企画を考えていく。

【概要】

場 所 東津軽郡蓬田村大字瀬辺地字山田35-84 いきいき交流館内 (蓬田村社会福祉協議会)

時 間 9:00~16:00 (月~金)

管 理 蓬田村社会福祉協議会(0174-27-2828)



「ねまるカフェ」でできること

【いつでも、誰でも、思い思いに過ごせる「みんなの居場所」】 R4季語

★健康増進・健康維持 専門職・団体と連携

血圧・体温セルフチェック 役場保健師等による健康体操 専門職による健康講座

4つのメニュー

・参加は利用者の自由 ・見学や休息だけでも可 ★孤食の防止 事業者と連携マルシェよもぎたと連携した昼食の配達

★eスポーツによるフレイル予防 福祉系大学と連携

フレイル、認知症予防 デジタルディバイドの解消



★文化・趣味的活動 NPO・各種団体と連携

> 趣味の仲間づくり 閉じこもりの防止、 社会参加のきっかけ

【委託事業終了後も、役場・社協が利用者とともに創っていく】

例えば・・・

食材の持ち寄りによる 「みんなの食堂」 食料品等の 移動販売 多世代が楽しむ場 (映画観賞, リモート・オンライン)

子どもから高齢者まで、みんなが集まり、つながり合う地域の拠点へ